

進行役	<p>皆様、こんにちは。ご多用の中、ご出席いただきましてありがとうございます。</p> <p>ただいまから、第5回杉並区立杉並第一小学校改築検討懇談会を開会いたします。</p> <p>初めに、杉並区教育委員会教育長よりご挨拶を頂きます。</p>
教育長	<p>皆さん、こんにちは。平日のお忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。</p> <p>いよいよ設計業者さんも決まって、具体的な中身の検討ということになってまいりました。杉並ナンバーワンスクール、名実共にいい学校ができるように、活発なご意見を重ねていただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
進行役	<p>ありがとうございました。</p> <p>次第の2「設計事業者紹介」です。事務局からお願いいたします。</p>
学校整備課長	<p>本年もどうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>私から事業者の紹介をさせていただく前に、これまで半年空きましたので、これまでの経過ですとか、本日の議題について簡単にお話しさせていただきます。</p> <p>杉一小の改築に当たりましては、昨年8月までに、懇談会の委員の皆様はもちろんですが、子どもたちですとか、教職員のアンケート、それから、あさがやまちづくりセッションを通じまして地域の方々、多様なご意見を踏まえまして、改築基本方針というものを定めたと。今後、これをどうやって具体化していくか、実現していくかというところで、設計のステージに入っていくわけですが、通常、区の学校改築に当たっての設計につきましては競争入札と申しまして、価格競争で決めていくといったところが一般的なのですが、今回の杉一小の設計につきましては、先ほどもありましたように多様な意見を実現していくという点で、力のある事業者様を選ぶということで、公募型のプロポーザル方式というもので選定を行いました。</p> <p>これは、具体的には、皆様のご意見を踏まえた改築基本方針を技術的にどうやって実現できるのかといったことについて企画提案を求めまして、それを評価することで、技術的に裏づけがあるのか、実績がどうなのかとか、あるいは、本件に取り組む意欲はどうかといったところを総合的に評価しまして、選定を行ったということで、これが昨年の9月から12月にかけて、今日ご欠席ですが、お二人の学識経験者の方にも選定委員として入っていただきながら進めてきたという</p>

	<p>ことで、これは書類審査だけではなくて、プレゼンテーションですとかヒアリングも含めて、総合的な評価の結果でございます。</p> <p>今回のプロポーザルについては、3者から応募がございました。その中で、株式会社日総建様が、その中で最高点ということで、100点満点にしますと88%、かなり高い得点で選定をされたということでございます。</p> <p>次に、本日の主な議題についてですけれども、主に大きく2つございまして、1つはこの企画提案の中で日総建さんが提案された提案書の内容をご紹介しまして、今後の設計に向けてご意見を頂くと。</p> <p>大きく2点目としましては、設計の大きな最初のステップでございます校舎の配置計画、どこに校舎、グラウンドを持ってくるか、人の動線をどうするかといったところを複数比較検討しまして固めていきたいと思っております。これについては、今回はあくまで第1回目ということで、検討に入るということでございます。</p> <p>本日は、日総建様から代表取締役社長、それから、今回のプロジェクトを進めていただく設計チームの代表の皆様にお越しいただいておりますので、この後、自己紹介と、会社、それから、実績等のご紹介をお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、日総建の皆様、お願いいたします。</p>
日総建	<p>初めまして、ただいま紹介いただきました、株式会社日総建と申します。今回、お仕事を担当させていただくことになりました。よろしくお願ひいたします。</p> <p>簡単に弊社の紹介をさせていただきます。前のほうにスライドを出しています。</p> <p>左上のところにメッセージとして挙げておりますけれども、「確かな建築で、都市の未来をつくる」ということを当社の仕事に対する信念としてやっております。単に建築だけではなく、まちづくりにつながるような、そういうところも視点として持ってやっているというところで</p> <p>当社の沿革としましては、会社設立後60年たちまして、歴史の長い会社だと自負しております。</p> <p>当初は電電公社の通信局舎を担当して幾つも建ててきておるのですが、通信局舎という性格上、先ほどの「確かな建築」、しっかりと建物を造るといったところの技術力をしっかりと身に着けたと考えております。</p>

	<p>近年ですけれども、公共施設関係の仕事が大体仕事の6割から7割ぐらいを公共の仕事ということでさせていただいております、特に近年は公共施設の中でも、住民の皆様がお使いになるような施設というのが非常に増えてきている。ここに挙げましたのは、公共では官庁施設関係があります。ここは官庁関係で、しっかりとした建物をこうやって造っていくということで、挙げさせていただきました。</p> <p>あと、住民の皆様が使うところで、商業施設的なもの、道の駅のもの、そういったものも担当させていただいて、仕事の実績をつけさせてもらっています。</p> <p>まちづくり系のところですが、ここに挙げましたのは江東区にあります工場跡地の再開発のときに建築を担当しまして、まちづくりにつながるような、こういう施設もやってきたといったところで見ただければと思います。</p> <p>今回の施設、学校ですとか教育施設関係、それに関して具体的に幾つかの事例もこのところで紹介させていただきますが、このところは業務担当から説明させていただければと思います。よろしくお願ひします。</p>
日総建	<p>今回の設計業務の総括責任者になります。</p> <p>本日は、うちの意匠チームのメインメンバーを連れてまいりました。意匠主任。</p> <p>それから、学校計画のエキスパート。</p> <p>それから、意匠担当になります。</p> <p>本日は、ぜひ皆さんの忌憚のないご意見を伺わせていただき、よりよい建物にしていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。</p> <p>今日、小学校ということだったので、弊社の実績の中から、教育系と公共施設の案件を6件ほどピックアップして持ってきております。</p> <p>こちらが、中野区の鷺の杜小学校になります。</p> <p>学童クラブも併設しております、3階建てで、1万700平米程度。立地は、このとおり住宅街に囲まれています。校庭は人工芝という案件になります。</p> <p>住宅街に囲まれておりましたので絶対高さが10メートルぐらいの制約がありまして、敷地が北と南で2つに分かれているという、非常に特殊な敷地の制約がありました。こちらを校舎と校庭を渡り廊下でつなぐということ、それから、教室の前のひさし、こちらのところに木を貼っ</p>

て木質化を図るといふような、そういった特徴がございます。

こちらが、千代田区の富士見みらい館という建物になります。

1万3,500平米程度の6階建てで、小学校とこども園とわんぱくひろばと併設しています。乳幼児から学童、青少年まで、年齢層の幅の広い子どもの居場所を設置しています。

特徴は、左側が小学校、右側に体育館ですとかプールですとか、あと、特別教室群を単純にボリュームで分けてしまっていて、地域開放するという、そういったスキームになっております。当時、東京都の低炭素ビルのトップ30に入りました。

こちらが、富山市の中央小学校で、1万2,000平米ぐらいで、4階建て。特徴は雪国なので、屋根のある半屋外の空間です。それから、そこにステップ上の中庭を造って、そこを交流空間として提供しているということです。採光と通風をここで確保しながら、ここに出てくると立山連峰がよく見えるという、そういった場所になっております。こちらも人工芝になっています。

こちらが、文京区教育センターになります。ビーラボという青少年の居場所を併設しています。

交流空間となるメインエントランスや、福祉センター入口が別にあつたので、入り口を分けて、エントランス周り、入り口を入った奥のところに木を貼って内部空間を木質化しているという案件になります。

こちらが、もりんぴあこうづという、千葉県成田市のコミュニティセンターで、図書館を併設している複合施設になります。大体4,800平米程度。

図書館なので、日が入らないように木ルーバーで周りを囲ってあげて、隣に公園が隣接していたので公園の緑を取り込むといった構成になっています。そういった居住性のよい図書館を提案するというのが主な目的になっております。

こちらは、杉並区の案件として、ご存じの方もいると思うのですが、弊社で実施設計した杉並区中央図書館の全面改修の案件です。

こちらは様々な方々のご意見がたくさん寄せられていて、それらを読ませていただいて、私どもでご提案さしあげて、プロポーザルによって弊社を選んでいただきました。

この改修のポイントといたしましては、LEDや床輻射冷暖房といった最新の技術を採用した一方で、外部にランドスケープを導入して、様々な利用者の方々の居心地のよい居場所を内外併せて造り込んでい

	<p>る点になります。</p> <p>以上で弊社の実績についてご説明させていただきました。</p>
進行役	<p>ご説明ありがとうございました。</p> <p>それでは続いて、日総建から今回のプロポーザルでご提案いただいています杉並第一小学校の改築基本方針の具体化について、委員の皆様にご紹介していただきたいと思えます。よろしくお願ひします。</p>
日総建	<p>それでは、私どものプロポーザルのご提案について、説明を始めます。</p> <p>こちらが改築基本方針です。ここを原点として、こちらの内容を具現化するために、プロポーザルで私たちがご提案した内容についてお話を始めます。</p> <p>こちらが、改築基本方針と一緒にしていた基本計画の概要版で、こちらで大体今までどう進んでいたか、概要がざっくり分かるということで、これが基礎情報になっていました。</p> <p>ここからが私たちの提案になるのですが、ここは建設地になるのですが、ここにJRの阿佐ヶ谷駅があつて、その駅からにぎわいの軸というのが駅に沿って商店街が続いていくような、そういった立地になっていまして、中杉通りが交差していると。今の杉並第一小学校がこちらになります。その隣には神明宮や病院で、建設地があつて、その建設地の周辺は住宅街が三方を取り囲むという、そういった立地になっています。</p> <p>ご提案に当たり、こちらの皆さんがご検討いただいた改築基本コンセプトを私たちに解釈して、「新しい時代の『学び』と『縁』を醸成する『プレイスメーキング』」というコンセプトをつくりまして、これに沿って提案書をつくってきたという経緯になります。</p> <p>まず、ビジョン1から。こちらが建物のブロック図になります。校庭の面積を最大限に確保するため、校舎をコンパクトにまとめ、その構成要素は、普通教室、特別教室、それから体育館。1階に管理諸室を置く。そして、中央に回遊性を持たせた垂直動線があつて、こちらを「学びの広場」と呼んで、入り口に「まちかど広場」や建物外周に「縁テラス」を回すといった、そういった基本構成になっております。</p> <p>敷地西側の「まちかど広場」から、小学校を入ってすぐなのですが、昇降口を通過して入ると、エントランスや職員室があつて、学童は反対側の東側からアプローチするという計画にしています。給食の搬入口は車の出入りがある病院側の区画道路3号線に設けています。</p> <p>凡例がありまして、色ごとに主要なお部屋がどこに配置しているかと</p>

いうがざっと分かるように図をつくっております。

ここからが3階から上なのですけれども、3階が基準階として非常に分かりやすいのでここでご説明しますが、ブルーに塗ってある部分が普通教室、グリーンに塗ってある部分が特別教室群で、中央に「学びの広場」と呼んでいる場所があります。図の周辺のイラストは、その個々の活動シーンをイラストで分かりやすく、うちの弊社の実績なども踏まえて描き出してあります。

こちらは授業改善のイメージ図ですが、子どもたちの可能性を引き出す「個別最適性」と「協働的な学び」が問われていて、従来の教室での一斉講義から、子どもが対話や探求を通じて知識や考えを深めていくスタイルの変化が強く求められていることが分かります。こちらは、文科省からの資料になります。

今回、オープンスペース型をご提案していますけれども、その導入効果を左の活用方法の具体例として書き出してありまして、右側に「教育への効果」というものを書き出してあります。

右側の項目に新しい時代の学びを実現するためのポイントが4つありまして、こちらを意識しながら、課題①の下の図です。今のままだと多様さに対応できない、かといって新しい時代の学びを現状の教室で行おうとすると面積が増えることから、右側の図が今回の提案になるのですけれども、この写真のとおり、教室機能をワークスペースに取り出して活動している様子という、弊社の実績の写真なのですけれども、具体的にはこういった空間性のある学校を造っていきたくて考えています。単なる廊下と教室から学校全体を見直して、皆さんと一緒に実空間の新しい価値を造り上げていきたくて考えております。

この吹き抜けは、先ほどから言っている「学びの広場」といっている垂直動線周りなのですけれども、日常的な学年交流や地域交流のきっかけをつくり、光庭と併せて、自然を身近に感じる学習空間をつくっていきたくて考えております。

身近な範囲に木材を積極的に利用して、特に外部の軒天や、この後イメージも出てきますけれども、教室空間としての学校、それから、町、両方に効果がある使い方をしていきたくて考えています。

今度は校庭の話です。今回、土ぼこり対策というお話もあったので、人工芝などを主に考えてありまして、地形を生かして、雨が降ったときだけ水がたまるようなレインビオトープなどを造って、子どもたちの遊び場や休憩場所、そして、自然観察の場というのも校庭の一部に造って

いきたい。

それから、地域の見守り力を生かして、学校の安全性を高めるために、段階的に、後で詳しくご説明しますが、セキュリティゾーンを設け、学校の開き方も調節できるようにしていきたいと考えております。これは学校の普通教室側から見たイラストになります。

ここからビジョン2に入ります。防災の軸に沿って、災害時の備えとして、マンホールトイレや防災井戸、校庭への車両の出入口も確保していきます。

今回、この図の下側が病院で、校庭で、建物があって、1階の左側に広場を設けているのですが、こういった広いスペースを連携させることで避難場所としての在り方、それから、校庭を広く取るために体育館を2階にして建築の建屋面積を増やしているのですが、体育館の2階にあることで安全性を高め、それから、2階にあるのですが外部から直接入る入り口も個別に設けていきたい。

それから、浸水対策として1FLを上げるというのを見ましたので、こちらの「まちかど広場」に少し広がりがあるので、そこで緩やかに上げて床のレベルが上がっているというのを感じさせないような造り方をしていきたいと考えています。もちろん、建物の下、それから、校庭の下には雨水貯留槽を設けて、水害の対策の備えもしていきたいと考えております。

ここから学校全体が教材となるようなエコスクールとして、ここからエコの話、省エネの話、あと、防災の話になるのですが、まずは、外皮の断熱性能を上げ、吹き抜けの重力換気や、今回奥行きが深い建物になるので、そこに有効になるように中央に光庭を設けて、自然光を取り込む。それから、建物の外皮に壁面緑化を設けて、緑は水分があるので、壁面緑化の水分の蒸散効果を活用して夏場の暑さを和らげるような、そういった環境をつくっていきたい。

それから、最新の技術としてはLEDですとか、それから、省エネとしては中間期の空調停止などもありますので、そういった具体的な省エネ施策を合わせた効果というのを取り込んでいきたい。

こちらは、建物とその周辺環境に関して説明している資料なのですが、建物の上にも屋上緑化を設け、それから、先ほどお話しした建物外周の縁テラスにプランターを並べて壁面緑化をしていく。それから、病院からの見下げの景色もよくする。それから、病院のところにもともと屋敷林という大きな樹木があったとお聞きしていますので、そう

	<p>いった屋敷林の緑の景観の回復にもつながるような。</p> <p>これは外観図なのですけれども、さっき言った壁面緑化を大胆に被せることで、大きな緑の塊がこの地域にありましたので、そういったところを回復して。この軒の深い、軒下空間である、縁テラスと言っているのはこの建物の周りのバルコニーの部分なのですけれども、この中間領域にこういった積極的な壁面緑化を行って、阿佐谷の街、オンリーワンの街、オンリーワンの小学校を造りたいというお話だったので、そういった街を彩るような建物にしたい。建物を軒下に木を貼ったり、玄関周りに集中して外部で使えるような木を貼ることで、部分的な木質化を図っていく。</p> <p>こちらは先ほどお話ししましたセキュリティのお話になるのですけれども、この図のとおり、大きく5段階に分けて、地域連携と地域開放に備えたいと考えています。</p> <p>特徴は、まずは緑色のzone 2です。内部に入らず、外部の縁テラス経由で、直接一部、一部屋単位で利用可能にした点と、利用可能にしたというのは特別教室なのですけれども、まずは校庭と体育館が地域開放されると思うのですけれども、次にいつも特別教室が話題に上がるので、その辺です。それから、水色のzone 3によって、学校のプライバシーが高いであろう普通教室のzone 5と、それから、普通教室側の紫色のzone 4、こちらを除いて、建物の中の縦動線が水色のところなのですけれども、使えるようにするというような、仕切りの工夫もしてございます。</p> <p>ここからまとめに入るのですけれども、以上がこちらの最初の改築基本計画、基本方針に対する私たちのご提案、「新時代の『学び』と『縁』を醸成する『プレイスメーキング』」で、『『教え合い、学び合い、かわり合いが』生まれる、唯一無二の『学び』の広場』のアウトラインについて、駆け足でご説明させていただきました。</p> <p>このたびご一緒できるご縁ができて本当にうれしく思っております。ご清聴ありがとうございました。</p>
進行役	<p>ご説明ありがとうございました。</p> <p>それではここで、当懇談会の学童クラブ選出の委員がお仕事の時間をつけてご参加いただきました。自己紹介をお願いしますか。</p>
	委員自己紹介
進行役	<p>ありがとうございます。よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、本日の懇談会、委員のお二人は所用によりご欠席をされて</p>

	<p>おります。</p> <p>お二人はプロポーザルの選定委員をお務めになられたということですので。その際の内容を含め、本日はメッセージを頂戴しているということですので、ご紹介ください。</p>
<p>委員</p>	<p>皆さんこんにちは。</p> <p>今日は会場に伺うことができず、直接、プロポーザルの審査の結果をお伝えできないこと、お詫び申し上げます。</p> <p>簡単にではありますが、審査の様子と結果について、ご紹介する動画を録画しましたのでご確認ください。</p> <p>まず、このプロポーザルは杉並第一小学校の移転工事の設計業務を行う事業を選定するためのものですが、いわゆる設計コンペ、これは設計案として完成に近い提案を作ってもらい、その内容を審査するものですが、今回杉並区が採用したのは、公募型プロポーザル方式と呼ばれるもので、懇談会等でも議論してきた移転に対する基本方針を理解しているか、ビジョン1から3、そしてそれぞれに設定した8つの目標をどのように達成しようと考えているのか、またこれまでの実績や体制からそれを実現する技術力があるのかが評価されました。</p> <p>応募状況としては、三者が技術提案を行い、三社全てに区役所に来庁頂き、プレゼンテーションをしていただき、質疑を行いました。</p> <p>それぞれ小学校の等の設計では充実した実績があり、各社の提案はいずれも公募型プロポーザルとしては具体的で、そのため質疑も具体的かつ精緻なやりとりが行われました。各社の提案は、敷地に対してどのように校舎を配置するのか、という出発点から異なって、それぞれ個性ある提案で、なかなか判断は難しいものでしたが、最終的には全員が合意する判断として決定いたしました。</p> <p>冒頭に申し上げましたように、今回は公募型プロポーザルという方式で、基本方針への理解や技術力を確認しましたが、結果的にはかなり基本設計に近い提案が行われています。しかしこの提案は、あくまでも技術力や理解度を確認するための資料であって、最終的な設計案として決まったものではありません。</p> <p>審査の過程では、関係者や地域住民の皆さんと一緒に作り上げていく能力も審査対象となりました。どのような建物にしていくかは、これから本番ですし、皆さんの熱意と情熱次第だろうと思います。皆さんが情熱をもって取り組めば、設計者も応えて頑張ると思いますので、多少おだてたりする、大人のテクニックも使いながら、一緒によいものにし</p>

	<p>て行って頂ければと思います。</p>
学校整備課長	<p>もう一方の委員につきましては原稿でメッセージを頂いておりますので、私から代読をさせていただきます。</p> <p>このたびは、改築検討懇談会を欠席させていただくことになり、申し訳ございません。</p> <p>今日の日程が決定する前に決まっていた先約があり、欠席させていただくことになりました。挨拶・感想を一言、と求められましたので、原稿の形にし、代読していただくこととしました。</p> <p>改築を担当していただく設計者が、適切に決まったことに安堵しております。</p> <p>選ばれた設計者の提案は、区側が条件として設定した目標等をしっかりと理解されて提案が行われていることが確認でき、先ずは一步前進したと考えております。</p> <p>個人的な感想としては、校舎へのアプローチ廻りの扱いなどに、杉並第一小学校としてのアイデンティティを重視していることを読み取ることができ、そのような姿勢で設計に臨んでくださるであろうことに好感が持てました。また、これからの教育施設としての小学校のあり方をしっかりと考えておられることも確認できました。</p> <p>一方で、壁面緑化の手法などについては、更なる検討が必要ではないかとも感じました。</p> <p>この設計者の選定は、プロポーザル方式といって、条件・目標を示された案件に対して、設計者として適切に取り組んでもらえるかどうかを判断するものであり、いわゆるコンペ・設計競技ではありません。したがって、提案されたものがそのまま建設されるわけではなく、これから適切に設計作業を進めていただくこととなります。</p> <p>そのためには、設計者には、将来この学校を使う方々の要望、希望をくみ取り、例えば、ワークショップを開くなどして、皆様を含め、多くの方々に、よりよい学校の設計を進めていくことが必要となります。</p> <p>以前にも申し上げましたが、その過程では、設計者に無理難題を押し付けたり、否定的な発言をしたりするのではなく、この懇談会の方々を含め、皆さんで、設計者と一緒により良い学校の設計を目指すことが肝要です。よろしくお願ひしたいと思います。</p> <p>以上。</p>
進行役	<p>ご紹介ありがとうございました。</p> <p>では、先ほどの日総建のご提案内容について、委員の皆様から、ご意</p>

	<p>見、ご質問をお伺いします。</p> <p>では、委員よりお願いいたします。</p>
委員	<p>座って質問させていただきます。</p> <p>ご提案の資料の 12 ページを皆さん開いていただきたいのですが、これは業者さんというよりは、改めて区にご質問という形になるかと思うのですが、この 12 ページの左下の黄色い枠の中のポツ 2 つ目、浸水対策として 1 階を上げるので、まちかど広場の奥行きで玄関とのレベル差を緩やかにしますということと、それから、その横の図で、校庭のほうを見ていただくと、ややビオトープの方角に向かってだんだん傾斜していくという図になっています。</p> <p>これを見ると、私どもがこの話の前に区から説明を受けていた、新たな土地に関しては、雨水対策も含めてですけれども、病院側が引き渡す前に十分なかさ上げをすると。正確な数字は覚えていませんが、2. 何メートル上がるということで、私の理解が間違っていたのかもしれませんが、これは引渡しの段階で十分にかさ上げされた学校予定地は平らになっていると、つまり凹凸はないと理解をしておりました。</p> <p>しかし、このご提案の前提となっている 12 ページを見ると、どうも校舎が造られる場所はかさ上げするけれども、その他はそのまま引き渡されると読み取れなくもないのですが、そうではない、事前の最初の説明どおり、まずは十分なかさ上げがされて引き渡された上で、学校の設計上、さらに 1 階を少し上げるのだということなのか、そこを私としてはお伺いしたかったということです。以上です。</p>
進行役	<p>では、日総建または事務局より、回答をお願いいたします。</p>
学校整備課長	<p>病院からの引渡しの状態についてですけれども、ここは最大 2 メートルの浸水がハザードマップ上で想定があるというところはございますが、病院が引き渡す際に 2. 何メートルかさ上げするということは、我々のほうから申し上げたことはないと思います。全ての病院の建物は解体して、更地にして引き渡すということにはなりますが、その際の地盤面をどうするかといったことについては、病院の解体工事もこれからですので、そこは区と病院の中ですり合わせをして、例えばですけれども、土をたくさん残されて、それを例えば撤去するというのは、処分費もかなり区としてはかかります。そういったことがなく済めば、それはお互いのとってよいとか、そういったこともありますので、その条件については今後詰めていくところかなと思います。</p> <p>今回の日総建さんの 12 ページの下の図の考え方についてですけれど</p>

	<p>も、学校になる敷地の北西の角、「まちかど広場」と書いてあるところの部分がこの敷地の一番道路面の高いところになりますので、そちらから緩やかに学校の校舎の入り口まで少し高めて、今の河北病院さんが建っている形に近いかと思えますけれども、そういった形が水害対策上もよいのではないかというご提案を頂いたのかなと理解してございます。</p>
委員	<p>ということは、次回、今まで示していただいた数々の資料は私の手元にありますので、このかさ上げについてどのような表現がされていたかというのはきちんとお示しできると思えますが、そのときの私の理解は間違っていたのかもしれませんが、一部をかさ上げするとか、そのような表現ではなかったし、しかも、後々すり合わせをするという表現ではなくて、病院側が引き渡すに当たってかさ上げ工事を終えているという理解ができる資料になっておったと、私は思っております。</p> <p>そこは次回、私も資料を当たってみて、改めて振り返ったときに、「なるほど私が間違っていたのだな」と思っているかもしれません。そこはまた、次回、ご報告させていただきたいと思えます。</p>
進行役	<p>委員、続きましてお願いいたします。</p>
委員	<p>座ったままで失礼いたします。よろしくをお願いいたします。</p> <p>今話を引き受けてのことになってしまうと思うのですが、あくまでも土壌調査が行われないと、これをかさ上げするのかしないのか、傾斜をつけるかということになってきますよね。ですから、土壌調査みたいなのはきちんとしていただければと思っていることと。</p> <p>今回いろいろな資料を頂戴して思ったのですが、杉並第一小学校の地域との連携とか、それから環境のこと、すばらしいと思いました。だけれども、基本的に学校というのは学び舎です。教員が使いやすい教室でなければ、いろいろなところいろいろな空間があったりとか、階段があったりすると、教員は1人です。複数の子どもたちを見たときに、今の子どもたちの多様性ということをきちんと鑑みてお教室を造っていただかなければ、基本はそこです。それプラス、オープン的なスペースがあったりとか、ワークスペースがあるというのはすごくすてきなことなので、教室がどうなるかが見受けられないところなので、ここはまた日総建の方たちにいろいろな形で提案していただかなければいけないと思うことと。</p> <p>学校の教育をもう少し分かっていただいて、公共施設とは違いますので、目的がきちんと子どもたちの学び、基礎学力の定着というのは私は確実に必要なことだと思っておりますので、付加価値はすばらしいので</p>

	<p>すが、そこをもう一度考えていただくとありがたいなと思います。 以上です。</p>
進行役	<p>では、委員、お願いします。</p>
委員	<p>よろしく申し上げます。</p> <p>幾つか伺いたいことがあります。冒頭で、委員からありました12ページの図。この懇談会が始まった当初から、杉一の校舎を建てようとしている敷地については、とにかく低い場所で、水が出た記録もあるような場所だ、浸水の被害があるかもしれないということもあって、かさ上げするのもしないのかということも1つのテーマとして挙げられていたのです。</p> <p>伺いたいのは、12ページには雨水貯留槽だとか、浸透槽だとかというようなことも書いてありますけれども、そうしたことについてのご説明はなかったですし、それから、まちかど広場のところはやや斜面になるので、北西に向かって今でも土地が少し傾斜しているということなのか。ということは、もしかさ上げしないということであれば、校庭は斜面になっているということなのか、それとも校庭は水平にするということなのか、浸水対策とも関連しますけれども、そこを伺いたいというのが1点です。それに付随して、このレインビオトープ、これも分かったような、まだよく分からないような、もう少し説明していただきたい。</p> <p>それから、今の杉一小学校は、随分前に建てられた建物で、多分当時の規格に基づいて建てられていて、例えば廊下の幅なのですけれども、幾つか最近建った学校の下見もさせていただいたときに、今の学校は廊下が広いなと感じたのです。具体的にどのくらい広がったのか、新しい基準がかつての基準よりどのくらい広がっているのかとか、つまびらかではありませんけれども、今の学校の廊下というのは、例えば現在の杉一に比べたら随分広いなと思ったのです。</p> <p>今度の案は、例えば今の杉一小学校のような、いわゆる廊下というのが必ずしもないというか、一般教室の前には廊下があるけれども、その前はいろいろな多目的広場みたいなものが配置されている考え方になっているので、必ずしも両側教室と壁の廊下というイメージの場所というのがそんなにあるわけではないかなと思いましたがけれども、廊下というか、多目的広場というか、そのスペースの考え方。多目的広場みたいなものをつくりたいというのはよく分かるし、それについては私も賛成なのですけれども、それについてももう少し説明していただけたらなと思います。</p>

	<p>それから、プールを教室の上に置くと書いてあるのですね。1つの案かもしれませんが、もちろん水漏れには注意しながら置くということのようですけれども、体育館の上にプールを置いて、一般教室の上には太陽光発電を置くという案もあり得ると思うのだけれども、今のよう一般教室の上にプールを置いて、体育館の上には太陽光パネルを置くとしてある理由は何でしょうか。お聞きできればなと思いました。取りあえず以上質問です。</p>
進行役	<p>では、傾斜について、ビオトープについて、多目的広場について、プールの設置について、ございます。お答えください。</p>
日総建	<p>まず、プール、分かりやすいので。体育館の上にも置くことは可能です。なぜそうしていないかという、体育館の上というのは、ロングスパンといって柱が中に建てられないので、柱をなくして梁を飛ばすということで、プールという水という重たいものを置くと躯体の費用が上がるのです。なので、柱が細かく入っているほうに置いたほうが構造体としては有利というか、経済設計ができるという判断もあって、私どもが設計しているほかの事例でも結構そういうものがあつたので、そういったことでご提案さしあげています。</p> <p>それから、校庭のかさ上げについては、どういった状態で引き渡されても皆さんが安心できるようなレベルで設定してかさ上げしたいと思っております。あとは私が心配なのは、1階の床に上がるときにあまり極端な階段とかで上がるのではなくて、なるべく自然に入れたいな思っていますので、その辺は浸水対策の絡みと上手に折り合いをつけて設計をしていきたいと考えています。</p> <p>それから、レインビオトープは防災井戸などもあるので、井戸も放つたらかしにすると故障の原因になったりするので、たまに回してあげて水を出すということもあるのですけれども、校庭の一番端っこのところにちょうどいい具合に、雨が降ったときに一時的に水がどうしてもたまってしまうので、そういったところを端っこのほうに造ることで、自然観察の場にできるのではないかなと思っていまして、ほかでもそういった事例で喜んでいただいたこともあつたので、ご提案さしあげています。</p> <p>もう1つは廊下幅の話なのですけれども、教室の前に教室を同じくらいのスペースを取っていますので、そのエリアの中で必要な廊下幅というのを取りながら、その余剰のところを教室の空間。教室も最近はいろいろなもの、道具が多くなってきているということも聞いていますし、</p>

	それから、小学校を設計していると子どもたちの展示スペースをすごく求められて、いつもどこか探しているのです、そういったところに使えるようにということで、ご提案さしあげています。
進行役	ご回答いただきました。ありがとうございます。
委員	この雨水貯水槽とは、造るという考え方なのですか。
日総建	校舎の下にも校舎の水を一時的に貯留して、大雨が降ったときに外に出ないようにしますし、あと、校庭の下にも造って、同じように雨水の水が一時に出ないような配慮というのはしていきたいと考えています。 区のほうからは、標準の倍は取ると聞いていますので、結果としては造ることになるかと思えます。すみません。1.5倍……。
委員	そのときに、大きさはどのくらいのイメージのものなのですか。
学校整備課長	それは、計算してみても算出します。計算式がありますので。
委員	それにしても、どのくらいの規模。
学校整備課長	まだそこまで検討してございません。申し訳ないです。
委員	そのときの計算というのは、どういう意味ですか。例えば、1時間当たりの雨量が何ミリのときに1時間あっても耐えられるようなぐらいのものとかということなのか、それとも、そのときの基準というのはどういう基準なのですか。
学校整備担当課長	私の記憶の限りでは、たしか雨水流出抑制対策として、1時間当たりたしか85ミリの雨量に対して、いわゆる雨水貯留システムといいたしうか、そういったものを設けて、学校に降った雨がほかへ流れないように対策を講じなさいということを義務づけている条例が制定されていると記憶しておりまして、確かに何立米の貯留システムがあればいいのかというのは計算してみないと出ないので、事業者さんも答えづらかったのではないかなということでは理解しているところでございます。
委員	例えば、我が家もこのすぐそばなのです。だから、我が家の場所も水が出てしまうと困るとふだんから思っているところなのですけれども、これは当然すぐそばの暗渠に流す、暗渠につなげる基本的な考え方ですよね。すぐそばに暗渠がありますから。
学校整備担当課長	暗渠というよりも、いわゆる学校の敷地に降った雨を学校の中で一時貯留をして。
委員	分かりますよ。その後、暗渠に流すということでしょう。
学校整備担当課長	暗渠とは言わないですけども、いわゆる下水に流すものです。
委員	下水に流すわけですよ。多分その下水にもあれも1時間当たりの

	<p>雨量がどのくらいまで耐えられる下水という、そういうのがあるのだと思うのです。それとの兼ね合いもあると思うのだけれども、そういうことも考えられたものを造ろうとしているのか、ご説明が全然なかったのです。</p>
学校整備担当 課長	<p>もちろん排水するときには、出す先の管に応じた、いわゆる口径に基づいて雨水を排出するということになりますので、当然 85 ミリ分の配管をつなげて一気に流すということはまずあり得ないと考えていますので、対応できる口径の中で我々も設計をしていながら対応していきたいと考えているところであります。</p>
委員	<p>分かります。例えば、善福寺川緑地のところも、遊水池として野球場に 1 回水をためて、それより出たらまた川に戻すという仕組みになっていますから、仕組みは同じような仕組みを考えられていると思いますけれども、今申し上げたように、例えば善福寺川緑地の脇であれば、例えば野球場であれば広大な場所で相当の水がためられるわけですね。同じように、ここではどのくらいの規模のことを考えているのかというのを聞いたかったのだけれども、ここでは正直言うとまだジャストアイデアですね。そういうことですね。</p>
日総建	<p>量的な検証はまだできていないということです。</p>
委員	<p>分かりました。</p>
進行役	<p>よろしいですか。 では、委員、お願いいたします。</p>
委員	<p>いろいろ見せていただいて、とてもきれいな設計だなと思っていますけれども、この内容についてはあまりとやかく言う筋はございませんけれども、元地盤がどうであるかということをお聞きしたいのです。</p> <p>私、ここに生まれ住んでずっといますから、河北病院が現在のところに建てる時の中というのを実は見ているのです。皆さんたちは見ていないでしょうけれども。相当、何かを放り込んでやったきらいがあるかな、まだ小さいというよりも、そんな状況で、木々などが相当入っていると思うのです。ですから、そういうような処理方について、先ほど課長さんがお話ししておりましたけれども、河北病院がやるべきことはきちんとやらせるという、基本的なことなのです。</p> <p>これは建屋を造って云々というところでは言われていますけれども、元の土台がどうなのか。今も委員が言ったとおり、私も委員とそんなに離れていないところにいますから。私が小さい頃、今暗渠になっている川は 1 回氾濫したことがございます。それ以後はないかと思えますけれど</p>

も。そのような状況のところ、沼地みたいなところに学校を移転して建てるという、そういう形が本当にいいことなのかどうかということ、これは設計が進んでしまっていますから、建築ありきで行っているのでしょうか、土台をしっかりと考えてもらって。

環境上から行けば、このような湧水を取るとか取らないというのは、本当はあってはいけないことなのです。そうですね。今言った、善福寺公園だとか、ああいうところのグラウンドをやるというのは、そんなのは遊びの場所ですから、水がたまれば、そこへたまっただけで別にどうってことないです。でも、いかんせんここは学校ですから、土台をしっかりと、かさ上げ以上のことをやっていただきたい。これに金をかけるのは十分いいと思います。

でも、そこには河北にきちんとやらせるという、今までどうしても区と河北が連携プレーみたいな形でやっていますけれども、たとえ医者であっても、何であっても、それはきちんとやらせるということをもう1回再確認していただきたいということです。

なぜ言うかということ、この建設があるときに、河北の、理事ではないけれども、出てきた人間が、この環境をよくし、緑を多くするというようなキャッチフレーズを、今度造る病院に緑地をよくしますと言いながら、相当はすったわけですね。今の建物は全部はすってしまって、真ん中だけ建っているわけではないですか。

環境も考えなければいけない病院が、経営のために考えて、自然のものをカットしてしまうという考え方で前へ出てきたりなんかしている。その状況の中を区が援護するのではなくて、病院の跡地だったら、跡地なりに、くどいようですけれども、地盤は河北に全部やらせるというぐらいの気持ちで、これは建築さんではないでしょうけれども、区のほうで言うべきことはきちんと言わなければいけないということなのです。

ちょっと話が違いますけれども、今回、ニュースで、鉄鋼関係でアメリカに対して社長がドンと言ったではないですか。ああいうことをなぜ言えないかということなのです。久しぶりに、私、いい話を聞きましたけれども、その後がどうなるかは別として。それはそれとして、要は土地の地盤が駄目なわけですから、だから、河北ないしは地主、それにきちんと土地を整地させる。それでなければ学校というのは建たないだろうということなのです。

今ここで言うことではないかもしれませんが、私、区の方に申

	<p>し上げたことは、回しますけれども、学校の生徒がアンケートを取り、教員がアンケートを取り、地域の方がアンケートを取り、地域の方が移動するわけですから、その方たちがオーケーを出すならば学校が建つことはいいですよという話をしてあるのですけれども、その地域の方のアンケートが取れたかどうか。</p> <p>というのは、私のところにメールで来たのは説明会を開きますという形なのですけれども、はっきり言って説明会なんか聞いたって駄目なんです。要は、きちんと地域の方に学校でやったようなアンケートを取ってもらって、みんながオーケーを出してくれるならば、そこに移転するということが必要ではないのか。これは、地域の地主だとか、病院だとかという、そういうことの問題ではないと思うのです。未来永劫、そこに住むわけですから。</p> <p>ここにかかれた学校の先生も、未来 100 年いいものを建てましょうとは言っていましたけれども、それはいいことなのです。ですけれども、100 年、200 年、そこに住んでいる人たちがどうするのですかということを考えるべきではないのかなということのをこれは区の方も再確認して、きちんとアンケートを取る。アンケートを取ってオーケーならばやむを得ないですよ。私は、それはしようがないです。いいと言うならば。</p> <p>ということも、再度の煮返しかもしれないけれども、それが見えない部分があるので、この計画に対しての話とは若干意見が違うかもしれませんけれども、そういうことをお聞かせいただきたいということです。</p> <p>とにかく、地盤はしっかりと。汚い物が入っていますから。汚い物というのは語弊でいけませんけれども、木材が入っていますからということをもう一度確認してください。これを掘り出すのは一体誰なのか、どのくらい費用がかかるのか、そういう費用対効果も考えていただかないと。いわゆる物ありきで行くのはいいですけれども、そういう基本的なことをもう 1 回我々にレクチャーしていただきたいということです。</p> <p>これは別にご提案でも何でもありませんから、それを持ち帰って、もう 1 回考えていただきたいというのが、私の主観的な意見でございます。以上でございます。</p>
進行役	事務局からありますか。
学校整備課長	<p>ありがとうございます。今おっしゃっていただいたように、建物の基礎になる地盤は非常に重要なところでございますが、現在の敷地についてはまだ病院が建っているということで、今後なるべく早期に地盤調査をやりまして、それに基づいて設計をしっかりとやっていくという予定で</p>

	<p>ございますが、その考え方については今しばらくお待ちいただければと思いますので、よろしく願いいたします。</p> <p>あと、地域の方々のアンケートというお話も以前から頂いているところなのですが、我々としてはまず改築検討懇談会などを通じて、どういった学校をまず使う側として建てたいのかというところをまず確認していきながら、近隣の方々のご理解を頂くところは非常に重要だと我々も思っております。</p> <p>今回のこういったところに、資料などについても、近隣の方、街区内に入られる方などもいらっしゃいますので、その辺りは我々も丁寧に対応しておりますので、そういった形で今後ともしっかりとやっていきたいと思っております。ありがとうございます。</p>
進行役	委員、どうぞ。
委員	<p>ちょうど 12 ページ目をお出しいただいているので、拝見しまして、随分良い提案をいただきありがとうございます。根本的な杉一小の今の問題であります、トイレが非常に脆弱とか、備蓄状況を実際に見ただけであればご理解いただけるとは思いますが、狭くて、防災倉庫の中にある例えば 2 リッターの水ペットボトルは 1,800 本普通なければいけないのですけれども、今のところだと杉一小校内には 360 本しか置けなくて、500 メートルぐらい離れた馬橋の倉庫に残りの 1,440 本が保管されているとか、そういったような問題がありまして、今回の提案を見させていただきますと、まちかど広場の近くに倉庫が 2 つ、体育館にもう 1 つといったところで、基本的なところですけれども、校内に必要な備蓄品を確保いただけるというように見受けられますので、非常にありがたいなと思っております。</p> <p>あと、まちかど広場のところに開放会議室という形で設置されていて、何かがあったときに、私みたいな震災救援所メンバーが例えば区の方と連携していろいろやるときに、そういうスペースをつくっていただけると、使えるのかなといったところで、非常にすばらしいなと思いました。</p> <p>ただ、ここだけは細かい話ですけれども、開放会議室と校庭や体育館といったところと離れているので、ほかのところを見ると、そういう司令塔になるような開放会議室は校庭だとか体育館と隣接しているほうがより機能しやすいようなことを聞いていましたので、ここは細かい意見であくまでも希望であります。あとは、雨水貯留槽とかが入ってましてすばらしいなと思った次第で、ありがとうございます。</p>

	<p>ここからは4つほどご質問をさせていただければと思っておりますけれども、おそらく設計業者さんのほうでも申されたかと思うのですけれども、確認で。今回のプロポーザルを受けたときに、杉一小の特徴的なところはこういったところで、それを大切に考えていかなければという部分はどこであったかというのが、まずお聞きできればと、繰り返しくなりますけれども、1点目になります。</p> <p>2点目が、人工芝ですが、今まで本懇談会ではそのような提案は出てこなかったのですけれども、人工芝を導入されるメリット、デメリットといったところをお聞かせいただければと思っております。炊き出しだとかをやるのが、結構私たちとしては前提になりますので、人工芝の上で炊き出しができるのかとの疑問がわき、炊き出しできる場所をご準備いただければというところかと思えます。</p> <p>なお炊き出しを行う場所は12ページにあるまちかど広場ではなく、人工芝が導入された場合は校庭外側の学校菜園やレインビオトープなどが図示された土のエリアに十分なスペースを確保していただくことが、震災救援所としての必須の要件となります。</p> <p>あと、2点ほどですけれども、これは設計事務所ではなくて区の方とも関連するかと思うのですけれども、鷺の杜小学校ですか、鷺宮にあるということなので、今後、日総建さんとお付き合いをする上で、可能であれば実物を見て、私たちの判断材料に加えさせていただくことはできないかというのが、質問になります。</p> <p>あと、4点目は、先ほど申し上げましたけれども、開放会議室と校庭と体育館のロケーションのところですが、ここは質問というか要望になりますけれども。</p> <p>以上、私のコメントになります。ありがとうございます。</p>
進行役	では、日総建さんから。
日総建	<p>学校の特徴ということですが、活動で、朝先生ですとか、子どもたちの居場所を、学童がないのに独自につくられているというのはびっくりいたしまして、多目的室で皆さん、子どもたちの面倒を見たり、朝先生の方が、朝、5分なのですけれども、事前に集まられて、お子さんがどういう状況かと連絡を取りながらやっている。また、情報共有しながら。要は、外部の方が学校の中に入って、教育に非常に関わられているというのに驚きまして、今の学校は大分古いので、新しいところでどうつくったらいいかというのは、ぜひ皆さんの、今使われている方の実直なご意見を聞かさせていただきながら、お部屋とかを造っていき</p>

	<p>いと思っております。それが1つ目。</p> <p>それから、人工芝のメリット、デメリットというのは、近隣の方にとって砂ぼこり対策になる。それから、学校にとっても、雨が降った後のグラウンドの立ち上がりというか、回復早いと聞いています。もう1つは、人工芝にすることで一足性が取れるとよく言うのですね。昇降口に下足箱が要らない。クレーコートでないから土足で中に入っていけるということがいいとよく言われます。ちなみに、お隣の中野区さんは、小学校はデフォルトで人工芝にしていると聞いています。</p> <p>あと、炊き出しの件は、どこでどんな活動をされるかというのを聞いて、配慮させてください。要は、火を使われるから心配されているということなので、それはまた個別にお話を伺いさせていただければと思います。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>視察のほうなのですけれども、これから学校が卒業式に向けて大変忙しい時期になってきますので難しいかなと思っていまして、ただ、写真とかを手に入れられないかどうか調整させていただいて、それを皆さんに資料としてご提供できればとは検討してございます。</p>
学校整備課長	<p>日総建さんがいろいろ資料をお持ちでしょうか、次回できれば、例えばパワーポイントで見せるとか、そういったところが検討できればと思います。</p>
日総建	<p>竣工写真がたくさんありまして、雑誌で子どもたちがいるときに撮りに行ったのです。子どもたちがどういう活動しているのかが映っている写真も結構ございますので、もし忙しい、行けないということであれば、私どもから情報提供させていただいて、なるべく実感していただけるような素材を出したいと思います。</p> <p>それから、最後の開放会議室の話は。</p>
委員	<p>開放会議室が、まちかど広場、体育館と校庭が離れているので、その部分の配置をもう少し検討してほしいなというところがございました。</p>
日総建	<p>その辺は具体的な活動、また個別で。</p>
委員	<p>2点ほど、今の話で追加でコメントさせていただいてもよろしいですか。</p> <p>人工芝のところは、上履きが要らなくなるという理解でいいのですか。</p>
日総建	<p>一足性になるとよく言います。靴が泥んこにならないから。</p>
委員	<p>ちなみに、中野区は全部人工芝と言われましたけれども、杉並区で人</p>

	<p>工芝というのがあるのですか。</p>
<p>拠点整備担当 課長</p>	<p>高円寺学園が。</p>
<p>委員</p>	<p>分かりました。ありがとうございます。</p> <p>あと、実は、今週の日曜日、鷺の杜小学校に散歩ついでに行ってきました、ちょうど校庭開放してしまして、正直言うと、見るとすばらしいと思いました。ですから、これは写真だとか言葉では説明できない。非常にいい設計事務所だなと思いました。ぜひとも実際を見てやったほうが、後々を考えますとよろしいかなと、私は思います。</p> <p>以上です。</p>
<p>学校整備課長</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>人工芝について、先ほどあったように、様々メリットがあるところもあるのですが、結構使い勝手がいろいろ違うところがあって、例えば種目によってはボールが弾まなくてできないとか、あるいは、石油製品ですので難燃性にはなっているのですが、熱だったりについては溶けたり、燃え広がるということはないのですが、熱に強いということはないということもありますので。阿佐谷北は火災の危険度がそれなりにある地域という中でどうなのかとか。</p> <p>また、最近、マイクロプラスチックが環境問題の原因になっているのではないということも言われてしまして、そういったところの課題もあるのかなとか。あと、聞くところによると夏非常に熱くなったりだとかというのがあります。例えば、今回杉一小だとおやじの会の方々が花火大会を毎回やられていたみたいなこともありますけれども、そういった花火などは当然できなくなるでしょうしというところも、全体的には考えながらやっていく必要はあるのかなと思います。</p> <p>かなり使い勝手が違いますので、賛否あるというところはよくよく考えて、我々も検討していきたいなと思っています。</p>
<p>委員</p>	<p>この間の見学会で、杉二と桃二を見て、たまたま私、現在高円寺学園の登下校の見守りで週に何回か行って、人工芝の校庭も見ているのですが、下駄箱が置いてあるエリアで土ぼこりとか何かは一切ありません。ものすごくきれいな状態です。子どもたちの遊んでいる様子も見ていて、特に違和感がないので、随分最近の人工芝はいいのではないかなという気がいたしました。</p> <p>今回の設計図を見ますと、軒が非常に長く出ている図でございまして、これは非常にすばらしいなという感じがいたしました。</p>

	<p>それと、見学した新しい学校もそうですし、いわゆる普通の廊下というよりも共通の広場という形、これも子どもたちの様子を見てみると、非常に伸び伸びしているのですね。広がりがあるというのはかなりいいのではないかなという感じがしています。</p> <p>1点だけ確認させていただきたいのは、各階ごとの配置図の中に、1階で学童というのが入っていますね。今、区民センターにも学童があって、これとの関係はどうなっているのですか。それだけ気になりました。</p>
学童クラブ整備担当課長	<p>学童クラブのご質問がございましたが、今おっしゃるとおり、この施設の1階に阿佐谷学童クラブというものがあって、これは杉並第一小学校に対応した学童クラブとして運営しております。</p> <p>杉並区なのですけれども、学童クラブについては、これまで、行き帰りの安全面のこともあって、改築の際を捉えて小学校の中に移転するというをやっております、子どもの居場所づくり基本方針というものを、今、案を出している状態なのですけれども、その案の中でも基本的にはその方向性については引き継いでいくということがございまして、杉一小的の改築の際に阿佐谷の学童クラブを学校の中に移転させていくということで、中に入れ込ませていただいているという状況でございます。</p> <p>ここから学童クラブが出た後については、児童館として活用する当然予定ということになりますので、学童クラブは、この施設で今かなり大きいスペースを使っていますので、今後、区のほうで児童館のいろいろな機能を強化していったら、よりよいものにしていこうということも計画で出しているところですので、そういったところで児童館としてもより使いやすい形で活用させていただくということで考えていきたいと思っております。</p>
進行役	委員、お願いいたします。
委員	<p>よろしく申し上げます。子ども3人が杉一小学校に通っていたものですから、とても愛着があって、興味を持って参加させていただいております。</p> <p>今回、基本方針、ビジョン1、2、3全て文章が形になると、こんなにすばらしいものができるのかと、感動しておりました。オリンピックのアリーナかしらという感じもしております。いろいろなことが、地盤の問題とかありますでしょうけれども、それは専門家の方が一生懸命考えてくださって、何とかしてくださるのではないかと思っております。</p> <p>ただ1つ気になるのは、体育館ですけれども、杉一小学校は器楽クラ</p>

	<p>ブとかが盛んで、楽器を外に出したり入れたりしますし、私たち更生保護女性会という割と年配の女性の集まりがあるのですが、それが年1回バザーをやるために体育館を借りるのです。そこに杉並と高井戸と荻窪の会員の人が荷物を運んでくるのです。車で。それで、これを見ると体育館が2階にあるみたいな感じで、どうなのですか、2階ですか。それは、車では行けませんよね。何しろ、60代ぐらいの女性とか、その上が多いもので、エレベーターでもあるのかなとか思ったり。体育館が2階というのは、防災上もどうなのかなという感じがあるのですが、それだけが気になります。あとは、とても素晴らしいと思います。</p> <p>以上です。</p>
進行役	<p>ありがとうございます。</p> <p>回答ございますか。</p>
日総建	<p>体育館の2階ということで、まちかど広場入ってすぐのところにエレベーターを用意してしまして、そこで上に上がって体育館までまっすぐ行けるようなルートというのを考えてあります。</p>
委員	<p>そのときのエレベーターの大きさなのですけれども、今お話にあったように、結構、人間だけではなくて、飾り物等も搬入される可能性があって、ある程度の大きさのエレベーターを考えておいたほうが多分いいのではないかなと。</p> <p>私、前に勤めていました仕事上の会社の中で、ある建物を建てたときに、機材を搬入するスペースを考えないエレベーターを造ってしまって大騒ぎになったことがありました。使い勝手として、単に人間が上がるだけではない、ある程度の大きさのエレベーターを想定されたほうがいいのではないかなと。</p> <p>以上です。</p>
進行役	<p>エレベーターについてですけれども。</p>
日総建	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>その辺は、具体的にどんなものがあるのか教えていただいて、標準だと大体15人乗りぐらいの、車椅子の方が中で回転できるようなサイズというのをまず入れるのですけれども、お荷物の道具の形状ですとか、大きさによってエレベーターのサイズというのはまた検証する必要があるかと思っております。</p>
進行役	<p>よろしいですか。また設計が進んでいく中で、皆様でご相談してまいります。</p> <p>では、向かい側に移ります。委員、お願いいたします。</p>

委員	<p>今いろいろお話が出ている中で自分が感じているは、あら探しというわけではないのですけれども、例えば芝の問題が出ました。私、杉七小学校の出なのですけれども、杉七小学校で芝生、これをかなり早くに取り入れてきたのですが、芝生が、生徒さんたちが使ったり、また季節によっては枯れてしまう。それを養生するために、およそ1か月半ぐらい校庭が使えない。欲をかいたら、そういう不便性は確かにあります。今、人工芝でもかなり質のいいものが作られているので、素材がいいので、かなり長持ちと、また危険性、それというのは解消されるのではないかなど。</p> <p>それから、先ほど出ました炊き出しの訓練のときの火のお話がありました。私も杉七の震災救援所やっていますけれども、訓練としては頻繁にあるかもしれませんが、常にそういった大きな出来事があるわけではないので、そこにあまり視点を置いて考えると、ある意味、僕から言わせれば欲が多すぎていかがかなという気がします。</p> <p>それと、数多くいろいろな施設を建設されてきて、そのやってみた結果、いろいろ不便さを確認できて、またそれを解消しようと思って、建設会社の方はいろいろ考えてくださっているのでしょうか。我々が、不便あるいは欲、それを言い出したら切りがないし、なかなか造れるものではないし、できたものをどう活用していくか、利用していくかというのも考えていったほうがいいのではないかなという気がいたします。</p> <p>場所的に、古くからいらっしゃる方、過去に水がついたのでこれはいかがなものかと、そうならないようにどうしたらいいのかというのは工夫してくださっているので、あまり心配だけを先走ってもいかがかなと私は感じました。</p> <p>以上です。</p>
進行役	委員、お願いいたします。
委員	<p>途中から出席してしまいまして申し訳ございませんでした。もし質問とか重複してしまっているようでしたら、その旨お伝えいただければと思うのですけれども、私は本日学童クラブの保護者代表としてこちらの席におりますので、その視点でご質問させていただければと思っております。</p> <p>今回、小学校の中に学童をつくって、設計の中に盛り込んでいただけたと思うのですけれども、この学童出入口が正門と真逆のところに位置しておりまして、せっかくのまちかど広場、明るい開けたところとは正反対の場所にあるというところで、これは何を意図されて別の場所に設</p>

	<p>計されたのかというところをお伺いしたいなというところと。</p> <p>あと、せっかく学童が小学校の中にあるということで、今の学童クラブも子どもがすごく喜んで通っているのですけれども、せっかく小学校の中につくるのであれば、そういった何かメリットもあればありがたいなと思いながら話を伺っていたのですけれども。例えば図書館が利用できるような位置関係にあるですとか、そういったことをもし、今後だったりとか、現段階でアイデアがありましたら、ぜひお伺いしたいです。よろしくをお願いします。</p>
日総建	<p>学童の配置については、ある程度校庭をまとまって、もともとの杉一小もかなり今狭いので、なるべく頑張ってお広く取りたいなと思っていて、取った下半分のところで、まちかど広場からの、ふだんの小学校の動線を考えていくと、大体今ある位置は非常に収まりがいいというか、まとまった学童が取れるということです。</p> <p>入り口は別に記載してございますけれども、中からも行けるつもりでおります。だから、まちかど広場を通過して、職員室の前を通過していくと実は行けるようにするつもりです。</p> <p>よく管理上、どこからが学童か分かるようにしっかり分けてくださいとよく言われるので、その辺は造るのですけれども、実際は、まちかど広場からは行けないということではないです。</p>
学童クラブ整備担当課長	<p>まず、出入口なのですけれども、今設計さんのほうでお話が少しありましたけれども、これは恐らくですけれども、学校と学童の出入りの切り分けを一定程度したほうがいいのではないかなということで、仮置きで、ご提案としてここに置いてあるのかなと私は捉えています。</p> <p>実際、ここの校舎で学童クラブの位置が定まって、どこの入り口を使おうかというところは、そこは学校さんとも話し合っておき、場所をしっかりと決めていくべきものだと思っておりますので、恐らく土曜日とか学校がやっていない日の切り分けをしなければいけないよねという思いがあって、まず仮置きでここに置いたのかなと捉えております。</p> <p>あとは、校内にあるメリットなのですけれども、学校さんとの調整で、あとは開放団体さんの調整もろもろあった上でのなりますけれども、例えば校庭を使えるとか体育館を使えるとか、実際、調整で毎日使えるわけではないのですけれども、広い場所をお借りできるということは、数少ない場合であっても、児童館内学童とはまた違ったメリットでもありますので、私がこの配置図を見た限りでは、校庭には出やすいという位置を取っていただいて、併せて、フロアは違いますが、外階段を</p>

	<p>上れば体育館にも行きやすい動線を取っていただいているので、空いていけば学童クラブとしても行きやすい動線計画にはなっているのかなと思っております。</p> <p>そこは私も初見でこれを見たときに、ある程度理解いただいてこういう置き方をしているのだなと思っておりますので、いろいろご意見いただいたものも改めてブラッシュアップして、学校も含めていい建物にしていただければいいかなと思っております。</p>
進行役	<p>よろしいですか。</p> <p>では、委員、お願いします。</p>
委員	<p>私は親の立場からということで、コメントをさせていただきたいと思っております。</p> <p>まず、非常にきれいな設計というか、子どもたちに見せたらわくわくするような設計にさせていただいて、本当にありがとうございます。</p> <p>全体的に非常にいいなと思うのですが、先ほど心配し過ぎはよくないというコメントもあったのでしゃべりにくいところもあるのですけれども、親は心配するものでして、何点か確認させていただければなと思っております。</p> <p>1点目は、火災等で避難するときのことでお伺いしたいのは、今の学校ですと階段が結構離れたところであって、火の出たところとかを避けて通ったりとか、もしくはそうではなくても避難経路が2系統あって、階段を下りてすぐに校庭に出られるという、そういう学校になっているのですけれども、この図面を見ると、階段が2つ校舎内であるのかもしれないのですけれども、近い位置にあたりして、その辺で火の元の、どこに出るのかというのもあると思うのですけれども、そういったときに避難しにくいのか、もしくは渋滞することがないのか、そういったところが親目線で気になるなというところがありました。</p> <p>それと、普通教室が北東に向いているのですよね。割と近隣の学校とかを見ても大体南向きが多いのかなと思うのですけれども、北東向きでも特に問題がないとかというのであれば、そういった補足説明をしていただければと思います。それが2点目です。</p> <p>それと、私、息子が杉一小で野球をやっている、今はもう中学生になっているのですけれども、娘はジュニアバンドをやっている、結構杉一小のアクティビティというか、課外活動に参加させてもらって、彼らの人格形成に非常に有効に機能したと思っております、後輩たちもぜひそういった活動を続けてもらいたいなと思っておりますので、その観点</p>

でも何点か、希望というか、お伝えさせていただければと思います。

まず、ジュニアバンドの観点で言いますと、楽器で結構大きな音が出ますので、近隣の方にご迷惑にならないようにというところがあって、防音を音楽室に設定していただくときに、かなりやっていただけるとは思うのですけれども、他校の例で、桃二小に見学に行ったとき、かなり桃二小も防音については非常に重要視しているということで、相当な設備をもってされていたというものを見学させていただいたので、ぜひ杉一小も、ジュニアバンドも活発なところを念頭に置いていただいて、音楽室の防音設計をしていただければと思っております。

それと、先ほども出たのですけれども、音楽活動が盛んで、外に楽器を持ち出したりということも結構あるので、音楽室が上のほうにあると楽器の運びが、エレベーターがあるといっても多分渋滞してしまうので、人手で下ろすほうが早いとかになってくるとは思うので、なるべく、先生方のやりやすいようにというのは第一ですけれども、下の階のほうにあったほうがうれしいなというのは、希望としてお伝えさせていただきます。

あと、杉一小は野球が盛んでして、校庭から、野球でボールを打つとどうしても校舎に当たったりとかというのがあるので、この設計を見ていると、バルコニーみたいな形で教室から出ている部分があるので、そういったところにボールが入ったりとか、そういったことがないような工夫ができるのかとか、そういったようなところと。

また、校舎側はそうなのですけれども、反対側は住宅になっていますので、そっちにボールが出ないように。今のフェンスだと大分学校から外にボールが出ていくケースがすごく多くて、ただ、今の杉一小だと近隣が住宅ではないので、拾いに行ったりとかということで事なきを得ているのですけれども、周りが住宅ですと、今のフェンスとかネットの高さだと相当不足だなどというところがありますので、場所が変わるということを念頭に置いていただいて考えていただければなと思ってしています。

私、先ほどもご紹介いただいたおやじの会の代表もやっております、花火の話もあったのですけれども、餅つきも毎年やっております、学校関係者、親子含めて200名以上参加いただく、非常に人気な活動になっているのですけれども。人工芝だとそういったものもできなくなるのだろうなと思ってしていますので、そういったところも考慮いただいて、ご判断いただければなと思っております。

長くなりましたが、以上になります。

進行役	日総建さんからどうぞ。
日総建	<p>非常に活動が活発だというのが、お話を聞いていてすごく感じました。今、野球の話をおっしゃられていたので、絵面を大きくすると、防球ネットを3層ぐらいの高さで、今、回しています。大体小学校はこれぐらいで回すことが多いので。今の杉一小は確かに低いなと思って。取りあえず標準で回っているのですけれども、ホームランバッターがいるのだったら、また考えなければなと思っていますのですけれども、なので、野球の話は、強いということは聞いていたのですけれども、また考えさせていただきます。</p> <p>バルコニーのところも、大体高めの手すりぐらいでいって、あとは、ボールが当たって建物の損壊がないかというのを検証するぐらいなのですけれども。これが野球の話ですね。</p> <p>あとは、ブラスバンドが強いという話も聞いていまして、音楽室の話は桃二小のほうで大分検証されたという話もあるので、そちらも見せていただきながら、音のことについては確立された技術があるので、しっかり防音していきたいと思っています。</p> <p>避難経路は、一見近くは見えるのですけれども、建築基本法上で二方向避難というのがあるので、それを満足させる形で、入り口を端っこにして、階段自体、特に左方のメインの階段は防火壁で守って、階段の中に入ると安全性が守られるみたいな、そういった構造にします。</p> <p>プラス、今回外周にバルコニーを回していて、そちらからも逃げられるようなというのを実はプラスアルファで考えています。なので、心配はないかなと、私としては思っています。</p> <p>それでよろしかったですかね。</p>
委員	教室が北東向きというのは。
日総建	<p>どうしても昔の学校というのは、北側に校舎があって南側が校庭というのが典型なのです。大体建て替えすると反転するところがあって、割とあまり選べないというのが正直なところなんです。</p> <p>この後、配置計画の話もするのですけれども、全体的に今、近隣も含めて、学校の学び舎としての在り方も含めて、今の置き方がベストかなと。特に、東側の日はちゃんと入るので、だからそんなに私としては心配していないというところです。</p>
委員	ほかの学校の例でも、北向きの教室が増えているという話ですけれども、それで何か、南向きと違ってこういう問題があるみたいな話というのは、特にはないですか。

日総建	特にないです。
委員	ありがとうございます。
進行役	委員、お願いします。
委員	<p>子どもが小学6年生で今年卒業してしましますが、姉も今中学生で、二人の子供が杉一に通い、引き続きずっとここに住み、学校を利用させていただく立場で、質問と意見を述べさせていただければと思います。</p> <p>資料を見せて頂き、今日ご説明も頂き、かさ上げの話、浸水の話など敷地自体の話は割愛させて頂き、必要な設備について意見を述べさせて頂きます。マンホールトイレや物資の受入れ、炊き出し等いろいろ記載がありますが、これは学校単体の話ではなくて、学校を含めたエリア全体で考えるべき課題かと思います。学校になればいけないものは、ここ（区民センター）のような施設や、これから新しくできる区の施設など含めエリア全体で考えるべき課題なのかなと思いました。</p> <p>また、今日委員の方々からご意見があった教室の在り方については、私は専門でなく分からないので、何よりもこれからずっと使っていく先生方からよくご意見を聞いていただいて、ヒアリングやディスカッションをしっかりとやっていただいて、まとめていただくのがすごく大事だと思いますので、是非よろしくお願ひしたいと思います。</p> <p>私が子どもの頃から今の学校の教室を見ても、変わっているのは黒板がホワイトボードに変わったぐらいで、大きく変わっていないような気がします、これからの時代はもっとすごいスピードで変わっていくと思います。もしかしたら先生がAIになっているかもしれないし、授業のスタイルとかいろいろ変わるかもしれないですが、人が集まっているいろいろなことを学ぶという意味の学校は変わらないと思うので、それに対応できるようなフレキシビリティのある設計が必要かと思いますので、その観点でまとめていただくのがいいと思います。</p> <p>これから設計を深度化、進めていくと思いますが、その中で、今日お見せいただいた資料で、少し気になった点、もう少し検討を深めていただきたい点がございましたので、3点述べさせていただきます。</p> <p>1点目は、今日、委員の方からもご発言いただいた「杉一らしさって何ですか」というご質問があって、お答えいただいたのは私はピンと来なかったのですが、私も過去の委員会で発言をしたことがあります、アイデンティティをしっかりと表現して整備をしていくというのがすごく大事だろうと思います。杉一はすごく歴史がある学校ですし、その歴史を継承することが大事なのではないかと思います。杉一らしさ、杉</p>

一でなければいけない何か。

杉並区の学校はいっぱいありますし、全国いろいろな学校がありますが、そことは違う何かというのは当然必要だろうと思います。そういったところをしっかりと表現できないのかなと言うのは、懇談会に最初に携わったときからそういう話をさせていただきました。

委員会の途中で、杉一の昔の写真を紹介頂き、子どもたちから自分の好きな場所がどこかアンケートを取る話を聞いた時に発言したのが、「子どもたちに学校で写真を撮るならどこで撮りたいですか」みたいなのを聞いたらどうですかということです。どこがこの学校の自分の映えスポットなのか、誰かに紹介するとき、この小学校で撮ったというのを人に見せるときにどこを見てもらいたいかという意味で。そういうポイントはすごく大事だと思うので。今回のこのパースを見たときに、それがどこなのかなというのは分からなかったです。

先ほど阿佐谷独特のとか、オンリーワンのというコメントも頂きましたけれども、このデザインでどこが阿佐谷らしい風景なのか、オンリーワンなのかというのは分からなかったなというのが感想です。

建物としてはボリュームがありますので、こういう感じなのは分かるのですが、渋谷の公園みたいだなとは思いました。場所性とか、立地とか、そこに備わっている機能とか文化とかで、宮下パークはああいう形だと思うのですが、それと形が似ていて、15 ページのパースでいうと、三角形の植栽帯の形は阿佐谷らしいのかなというのを思ったときに、住宅街の中で現れる風景として、これが本当に阿佐谷らしい姿なのかというのは、もう少し検討する必要があるのではないかなと思いました。

木材を内も外も使っているのは全く否定しないですが、本当だったらこれに意味があるといいなと思いました。もともとこの計画はけやきの森の木を切るところからスタートしているので、けやきの木自体は残っていないのかな。とか、そういう木を使うと本当はいいのかなと、もうないのかもしれないですけども、そういうのが本当は、この地の歴史を継承することに繋がるのかなと思いましたが、けやきの木がもうないならしょうがないとは思うのですけれども、そういうことを、これを見て感じました。

また、木の使い方も小割ではなくて面的に使われている表現のところも、これは何でかなというのは思いましたので、検証すべきことはいろいろあると思いますので、杉並らしさ、杉一らしさ、この場所で、ど

	<p>ういう姿がいいのかというところは、もう一度検討いただきたいなと思います。プロポーザルで選ばれた案だからというのはあると思うのですが、人を選んだプロポーザルですので、その辺は柔軟に、もう1回検討いただきたいと思いました。</p> <p>2点目は、先ほど防球ネット、フェンスの話があって、野球やサッカーなどをやると、ネットが高く必要なのは、分かってはいるのですが、10 ページの右のほうに断面図がありますが、歩道状空地と沿道緑地と校庭で一体的なビオトープ空間をつくっていきますと見えます。敷地と町との接点という意味で、ここの境界をどうつくるのかというのは非常に大事だと思うし、私たちはふだん学校には入らないので、こういったところを通りながら、学校と接していくということになりますので、ここがいい空間になるといいなと思うのですが、実際は、恐らくこの歩道状空地と沿道緑地の間に高いネットが入ってしまう。セキュリティ上必要なものだと思うのですが、ここの作り方をうまく工夫できると、せっかく歩道状空地を提供し、ビオトープもつくるのであれば、うまくいくといいのかなと思いました。</p> <p>最後3点目ですが、学校ですので、授業を最優先にいろいろな計画をしていただくことは当然だと思うのですが、一方で、子どもの数が減るなかで、高齢の方、地域に住んで生活している方が増えるということで、この整備指針にもありますが、多目的にいろいろ活用できる施設にするというのは、目標8のとおりだと思います。それを考えたときに、拠点というか、事務局のようなものは、学校の中にあるのではないかと思いました。</p> <p>P T Aが活動をする場所はあると思いますが、それと同じぐらい、学校が終わった後で、開放するときを使うための、事務局の部屋みたいなものが必要なのではないかなと思いました。運用の話かと思いますが、そういったところも必要かなと思いました。</p>
進行役	<p>事務局からありますか。</p> <p>日総建から、どうぞ。</p>
日総建	<p>杉一小らしさのアイデンティティの話は、もっと、私がプロポーザルのときに知り得る情報で、私から文章とか読んだり、あと、現地を見させていただいたりということで、中に実は入れていないので、ぜひ皆さんの、何が杉一小かというところは、ぜひよく教えていただいて、それをデザインのネタにするとか、それでもっと考えていきたいと思っています。外観の緑の貼り付け方も含めて。</p>

	<p>映えるポイントという意味だと、玄関周りの入り口のところは頑張ったほうがいいかなと。委員長からもお褒めの言葉を少し頂いていますけれども、特徴のある学校というところで、その辺のところですか。</p> <p>あと、うちの会社で昔、この左の下、敷地内に生えた木を輪切りにして、壁に貼って、その当時の6年生の子にサインをしてもらったりというようなアートワークを作ったというところで、屋敷林の木が残っていれば、そういうことができればいいなと思って、参考として挙げさせていただきます。</p> <p>P T A以外の居場所というのは、場所をどこに取るかという話なので、それは個別に。</p> <p>それから、2番目の境界をどうデザインするかという話、通行する人の。今回、歩道状空気を2メートルとか取らなければいけない。先に少し緑地帯もあるので、防球ネットはある一定の高さから上なので、その境界のところは緑と合わせて、ただ通行するところだけではなくて、緑を歩いている方が、外側から歩いているときに楽しんでもらえるようなつくり方ができないかなというのは、率直には思っております。というところで、その辺でやりくりしながらというところですかね。</p> <p>今ので3点、ご回答というところなのですけれども。</p>
委員	ありがとうございます。
進行役	<p>委員の皆様、ありがとうございました。本当にたくさんのご意見が出てきているのですが、頂いている時間が刻々と終了の時刻を迎えておりますので、先へ進めさせていただきます。</p> <p>それでは、次第の4に移ります。「基本設計(案)作成の流れ」で、事務局から説明をお願いします。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>それでは、事務局から、資料2「杉並第一小学校の基本設計(案)作成の流れ」について説明させていただきます。</p> <p>この改築検討懇談会は、委員の皆様との意見や課題認識の共有を通して、校舎の配置や諸室の配置などを取りまとめた基本設計(案)を作成していくことを目標としてございます。この進め方について簡単に図解したものが、資料2となっております。</p> <p>これまでも簡単な表でスケジュールをお示ししたところでございますが、今回、1月の第5回目で、校舎の配置についてこれからまた日総建様に簡単にご説明いただいて、今日は時間がないと思いますので、ご質問、意見につきまして、もしもございましたらまた先ほどの意見の回答票のほうで書いていただければと思います。</p>

	<p>今日のご説明をさせていただいて、実際に今後その配置を次回でまた決めさせていただいて、それから諸室の内容についても検討すると言う流れで進めていきまして、最後6月に基本設計(案)というものをまとめていきたいと考えてございます。</p> <p>こちらは、一応これまであさがやまちづくりセッションというものをやっております、今回1月31日から2月1日にも予定してございます。こちら、今回皆様にお示しをしたものと同じものをパネルで展示をさせていただきまして、その場でもまた地域の皆さんにご意見を頂いて、それをまた併せて懇談会でも情報提供させていただいて、そしてまとめて進めていきたいと考えてございます。</p> <p>6回目は校舎の配置をもう少し具体的に検討して、それから、実際には諸室についても皆様のご意見を頂きながら、今日も頂きましたけれども、ある程度それも反映したものが出せればと考えてございます。</p> <p>最終的には6月終わりから7月にかけて、この案がまとまればと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思っております。</p> <p>基本設計(案)の作成の流れにつきましては、以上でございます。</p>
進行役	<p>それでは、ただいまご説明のありました「基本設計(案)作成の流れについて」、ご質問ありましたらお受けいたします。</p> <p>委員、どうぞ。</p>
委員	<p>教育施設計画推進担当係長さんに今ご紹介いただいたのですけれども、オープンハウスの会場はどちらになるのでしょうか。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>オープンハウスの会場は、産業商工会館の1階にあります展示室になっております。</p> <p>日時ですが、1月31日と2月1日に分けてやっております、1月31日は5時から8時まで。夕方から夜です。それから、翌日の2月1日土曜日になりますが、こちらは朝の9時から12時までという形になってございます。</p>
委員	<p>ありがとうございます。</p>
進行役	<p>ほか、ございますか。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、次第の5に進みます。「校舎配置プランの検討」です。説明をお願いいたします。</p>
日総建	<p>お手元の資料3になると思っておりますけれども、校舎配置の比較検討資料になります。</p> <p>まず、校舎の配置の比較表の見方なのですけれども、上のほうに配置A案、B案、C案、D案と並べています。この図の左上が北で、この図</p>

の右下が南で、東、西という配置になっています。

敷地の使い方として、今回プロポーザル案でご提案させていただいたのはこのA案で、敷地の特徴としては、図の上下に長くて、左右に狭いという、正方形ではなくて、少し長方形しているという特徴がありまして、校舎を南側に置いた、南というか、図の下に置いた、それを反転して図の上側に置いた、それから、敷地を左右に分割して置いた案、その反対側というような、大きく4つございます。

こちらの4つある案のうち、評価項目が大項目として4つございまして、「校舎環境」「校庭の環境」、それから「住民近隣への環境」、それから「水害・震災」という、上から1、2、3、4になります。

細目はそれぞれいろいろあるのですけれども、時間が大分押していますので、概略だけ簡単に説明させていただきますと、校舎の広さに関しては、A案が今標準の7,700平米。B案が敷地7,800平米、上に置くことで敷地の幅が少し狭くなるので、特別教室などが少し5階に行ってしまうということで、これだけ5階建てにしています。

それから、左右に分割すると校庭が非常に狭くなるので、校舎の面積としては同じ7,800平米なのですけれども、校庭の面積が一番左のA案が3,000平米に対して、B案が3,200平米、C、Dが2,300平米と2,500平米ということで、どうしても左右に分けてしまうと小さくなるということと、あと、校庭が奥行きがC、D案はないので、トラックを置いたときに周りの余地がないというのがC、D案の特徴になっていまして、なので、この2つは非常に設計していてよろしくないなと思っています。

なので、A、Bのどちらかで非常に悩んだのですけれども、A案で、先ほどご紹介したように1階に管理諸室を置いて、2、3、4階に普通教室、特別教室がきれいにまとまって、一番上にプールの一部だけ乗るという、非常に階構成性が明快なので、今回こちらをご説明させていただいたのですけれども、どうしても上に置くと幅が狭くなって、その分5階建てになってしまうというのがB案のよくないところです。

そのほか、いろいろあるのですけれども、近隣への影響というところで見ていただきたいのですけれども、影が周りにどう及ぶかという図を作ってみたのです。赤いところが小学校の影で、8時から16時で、1時間だけ周りに影を落とすというような、そういう図です。青が病院の影です。8時から16時で1時間だけ。なので、A案はここが校庭なので、左、敷地のほうには一部出ていて、あとは校庭内に収まっていく。B案は、図の上のほうに出てしまうので、近隣の方にもどうしても日が出

	<p>てしまうのですね、病院の影以外に。C、D案に関しては、こういった形で、どうしても北側のほうに影が出るという、そういった性状がございます。</p> <p>あと、校庭の日当たりなのですけれども、ちょうど13時の頃の日の線を点線で書いてあるのですけれども、大体1時のときに、A案の場合、校庭の下半分が建物の日影になって、B案のときは病院の日影が1時のときに結構かかっているということで、ちょうど1時ぐらいを見ると、午前中、こちらは非常に日当たりがいいのですけれども、こっちは西側の夕方のときに日当たりがいいのですけれども、どうしてもちょうど昼間辺りを狙ってみると、上の部分が日が当たらない部分が出るので、こちらのほうが日照関係はいいかなと思っております。</p> <p>なので、校舎の教育の場としてのまず開口性の使い方。それから、校庭の日照関係。それから、一番最後に近隣への日の影響というのを総合すると、A案のバランスが一番よくて、今回プロポーザルの案としてご提案させていただきました。</p> <p>雑駁ですけれども、以上です。</p>
進行役	<p>ありがとうございました。</p> <p>A案というご提案を頂いています。この後、ご質問をお受けいたします。時間が限られておりますので、午後5時10分をめぐりにお受けいたします。どうぞ、ご意見のある方は挙手をお願いいたします。</p> <p>委員、どうぞ。</p>
委員	<p>この4つの案で、費用的に、選定に大きな影響を及ぼすような差異はないという理解でよろしいでしょうか。</p> <p>校舎配置比較検討資料におけるAからDの4つの案に対するそれぞれの見積金額を教えてください。</p>
日総建	<p>延床面積がA案以外は100平米ぐらい増えているので、延床面積が増えた分ぐらいは増になるのではないかと考えています。</p>
委員	<p>この7,700平米と。</p>
日総建	<p>7,700が標準だとすると、B、C、Dは7,800になっているということです。</p>
委員	<p>分かりました。ありがとうございます。以上です。</p>
進行役	<p>ほかにごいませんか。</p> <p>では、委員の皆様方、ご提案のA案で、何かありませんか。</p> <p>委員、どうぞ。</p>
委員	<p>今日決まるわけではないですよ。もう時間がないです。それに、</p>

	<p>この懇談会が決める場ではないので、区として懇談会の意見も踏まえて決定されるという理解ですので、私たちがこうでなければならぬと申し上げるわけにはいかない場だと思います。</p> <p>ただ、私の感想としては、ほぼAかBが議論の余地ありというご説明に聞こえましたので、よくよく次回までに勉強して、具体的にいろいろと、なぜAがいいのか、なぜBのほうがいいのかということ具体的に申し上げられるように準備したいと思います。</p> <p>以上です。</p>
進行役	<p>委員、ありがとうございました。</p> <p>ほか、ございませんか。</p> <p>委員、どうぞ。</p>
委員	<p>私、今日、この会に出るために、家から歩いてきたのですけれども、この図でいうと、上の一方通行という場所の道を通って歩いてきたのです。予定地を見ながら。現在の河北病院の建物を見ながら。ちょうど3時10分か15分前ぐらいの時点の冬の時点、雲もなくて、日光がよく当たっていましたけれども、皆さん、お感じになっている方もおおぜいいらっしゃると思いますけれども、新しくできつつある河北病院、大きいですね。その大きな建物の影が、ちょうど現在の河北病院、これから杉一小を建てようとして計画している土地に、大きく影となって重なっていました。杉一が移転してきたら、杉一のかなり部分は、特に冬の時期、相当影になるなと思ってここに来ました。</p> <p>先ほど一般的に小学校、中学校も、大体校舎は北側にあって、南に面した日当たりのいいところに校庭があるというふうに造られているのが普通だったけれども、最近は逆のケースもあるのだというお話がありましたけれども、でも、やはり日が十分に当たる校庭で子どもたちが伸び伸びと動き回ることができるというのが求められるところだと思うのですね。</p> <p>ただ、これは設計というよりも、そもそもこの場所に持ってくる、その南西側には大きな10階建ての河北があるのだという、基本的な場所関係で、これはどう建てても逃れようがない。特に冬の時期の日照については、どのように工夫して建てたとしても、多くは望めない場所かなと感じています。</p> <p>だけれども、小さな工夫でもいいから、この先も少し細かいところも含めていろいろ考えていくことになると思うのですけれども、ぜひ、なるべく日当たりのいい校庭で子どもたちが思い切り動き回ることがで</p>

	<p>きる形というのを考えていただきたいなど、これはお願いというか、思っています。</p>
進行役	<p>委員、ありがとうございました。</p> <p>まだ2分ございます。よろしいでしょうか。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>今年年度末になってきますとなかなかスケジュールも押してくると思いますので、次回の日程につきましては、申し訳ありませんが、この場でお知らせをさせていただきたいと思えます。</p> <p>次回、6回目ですが、日付と時間指定で恐縮ですが、1か月後の2月28日の14時から2時間ほどを予定したいと思っております。</p> <p>まだ会場は決まっておりますので、改めて会場が確認取れ次第、ご連絡したいと思うのですが、その前に1回、委員の皆様のご出欠も確認できてから会場を確定させていただきたいと思っておりますので、改めて連絡をさせていただきたいと思っております。よろしくお願いたします。</p>
進行役	<p>それでは、閉会に当たりまして、学校整備・支援担当部長より挨拶を頂きます。</p>
学校整備・支援 担当部長	<p>本日は、長時間にわたりまして懇談会どうもありがとうございました。</p> <p>本日頂いた貴重なご意見は、この設計案をこれから具体化する中で、しっかり受け止めさせていただいて、よりよいものにしていきたいと思っておりますので、期間が6月というところで少しタイトなこともありますけれども、ぜひ皆様のご協力を頂いて、我々も皆様のご意見に真摯に向き合って対応していきたいと思っておりますので、今後ともぜひよろしくお願いたします。本日はどうもありがとうございました。</p>
進行役	<p>これで閉会といたします。時間が押しまして大変申し訳ありませんでした。引き続き、どうぞよろしくお願いたします。</p>